

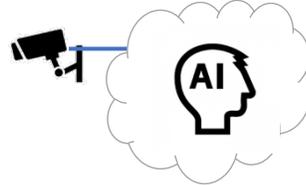
世界初！ AI、IoT等のICTを活用したウニ陸上畜養トータル・ソリューションの構築

- ・大分県の沿岸部に限らず世界中で、地球温暖化、魚の乱獲などによりウニが大量発生し豊かな漁場を支える海藻が消滅する磯焼け問題が発生、天然ウニの身入りも減少。
- ・増えすぎたウニを漁業者が捕獲し、AI、IoT等のICTを駆使した畜養管理システムを用いて畜養することで、水産技術者の勘や経験、肉体労働だけに依存することなく、効率的に安定品質のウニを育てることができる。
- ・豊かな漁場の回復、漁業者の収入増加、特産品の創出を同時に達成し、サステナブルな地域社会の形成に貢献。

AI, IoT等のICT活用

コンソーシアムメンバーで共同開発

画像認識AIの開発



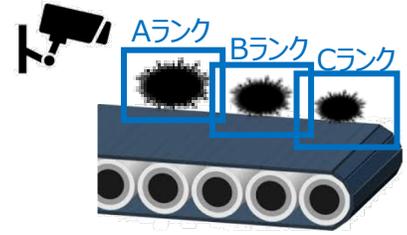
カメラ・センサーによる水槽内のウニの個数、サイズ、健康状態、外傷の認識、レポート



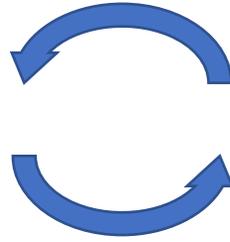
画像認識技術を活用したオートマチックな畜養



ロボットによる自動給餌



自動選別による仕分け



最適条件をフィードバック



ウニ畜養場



ウニを漁業者が捕獲



美味しく太ったウニを出荷

事業実施主体
(コンソーシアム構成員)

(株) 大分うにファーム、ウニノミクス (株)、NTT東日本 (株)